

阿見町議会会議録

平成22年第2回臨時会

(平成22年11月30日)

阿見町議会

平成22年第2回阿見町議会臨時会会議録目次

◎招集告示	1
◎第1号（11月30日）	3
○出席，欠席議員	3
○出席説明員及び会議書記	3
○議事日程第1号	5
○開 会	6
・会議録署名議員の指名	6
・会期の決定	6
・諸般の報告	6
・常任委員会所管事務調査報告	7
・議員派遣報告	8
・議案第85号（上程，説明，質疑，討論，採決）	14
○閉 会	15

第 2 回 臨 時 会

阿見町告示第184号

平成22年第2回阿見町議会臨時会を次のとおり招集する。

平成22年11月24日

阿見町長 天田 富司男

1 期 日 平成22年11月30日

2 場 所 阿見町議会議場

3 付議事件

(1) 阿見町職員の給与に関する条例等の一部改正について

第 1 号

[11 月 30 日]

平成22年第2回阿見町議会臨時会会議録（第1号）

平成22年11月30日（第1日）

○出席議員

1番	佐藤幸明君
2番	平岡博君
3番	川畑秀慈君
4番	難波千香子君
5番	紙井和美君
6番	久保谷充君
7番	石井早苗君
8番	柴原成一君
9番	浅野栄子君
10番	藤井孝幸君
11番	久保谷実君
12番	吉田憲市君
14番	倉持松雄君
15番	大野孝志君
16番	櫛田豊君
17番	諏訪原実君
18番	細田正幸君

○欠席議員

13番	小松沢秀幸君
-----	--------

○地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者

町	長	天田富司男君		
教	育	長	青山壽々子君	
消	防	長	瀬尾房雄君	
総	務	部	長	坪田匡弘君
民	生	部	長	横田健一君

生活産業部長	川村忠男君
都市整備部長	横田充新君
教育次長	竿留一美君
会計管理者 兼会計課長	宮本寛則君
総務課長	篠原尚彦君
企画財政課長	篠崎慎一君

○議会事務局出席者

事務局長	小口勝美
書記	大竹久

平成22年第2回阿見町議会臨時会

議事日程第1号

平成22年11月30日 午前10時開会・開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 常任委員会所管事務調査報告
- 日程第5 議員派遣報告
- 日程第6 議案第85号 阿見町職員の給与に関する条例等の一部改正について

午前10時00分開会

○議長（佐藤幸明君） 定刻になりましたので、ただいまから、平成22年第2回阿見町議会臨時会を開会します。

ただいまの出席議員は17名で、定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事については、お手元に配付しました日程表によって進めたいと思いますので、御了承願います。

これより議事に入ります。

会議録署名議員の指名について

○議長（佐藤幸明君） 日程第1、会議録署名議員の指名について、本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定によって、

3番 川 畑 秀 慈 君

4番 難 波 千香子 君

を指名いたします。

会期の決定について

○議長（佐藤幸明君） 次に、日程第2、会期の決定についてを議題にします。

お諮りいたします。今臨時会の会期は、本日1日とすることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤幸明君） 御異議なしと認めます。したがって、会期は本日1日とすることに決定しました。

諸般の報告

○議長（佐藤幸明君） 次に、日程第3、諸般の報告を行います。

議長より報告いたします。今臨時会に提出された案件は、町長提出議案第85号の1件であります。

次に、監査委員から平成22年8月分から10月分に関する例月出納検査結果について報告がありましたので、報告いたします。

次に、本臨時会に説明員として地方自治法第121条の規定により出席を求めた者は、お手元に配付いたしました名簿のとおりです。

以上で諸般の報告を終わります。

常任委員会所管事務調査報告

○議長（佐藤幸明君） 次に、日程第4、常任委員会所管事務調査報告を行います。

産業建設常任委員会では、閉会中における事務調査を実施しました。ここで委員長より調査結果の報告を求めます。

産業建設常任委員会委員長柴原成一君、登壇願います。

〔産業建設常任委員会委員長柴原成一君登壇〕

○産業建設常任委員会委員長（柴原成一君） 皆様、おはようございます。それでは、命によりまして、産業建設常任委員会所管事務調査について御報告申し上げます。

当委員会では、去る10月19日、午後1時30分から3時30分まで、埼玉県児玉郡美里町役場協議会室において研修してまいりました。出席委員は全員の6名で、佐藤議長にも参加いただきました。議会事務局からは小口事務局長、大竹主任、執行部からは川村生活産業部長、農業振興課小松澤係長、水間主事に出席いただきました。

今回の視察の目的は、耕作放棄地を防ぐため、観光果樹園100町歩構想を進めた美里町から学ぶことで、阿見町の耕作放棄地対策、町の活性化が図られるものと考えたからであります。美里町からは、原田町長、根本議会議長、茂木副議長、総務建設常任委員会櫻沢委員長、文教民生経済常任委員会中嶋委員長、執行部からは江黒農林商工課長ほか3名の参加をいただき、約2時間にわたる説明を受けました。

まず、観光果樹園100町歩構想の概要を御説明いたします。

美里町は、最盛期には600町歩の桑畑があったそうですが、近年、輸入生糸に押されて衰退してしまいました。1999年度から5年間、全額公費負担で桑を伐根、畑をならし、農家の希望を聞いて4種類の果樹を植えました。その結果、700町歩植栽し、耕作放棄地対策として大きな成果を生んだということです。町は高齢化が進む中、労力がかかる野菜は難しいと考え、果樹の導入を決めたといいます。そしてまた、町中が果樹の甘い香りに包まれた里として活性化が図られるよう大勢の観光客でにぎわうフルーツの産地にしたいと考えたそうです。果樹はブルーベリー、プルーン、梅、アズノの4つに絞りました。

総経費は約1億3,500万円で、県が約3,300万円負担し、残りを町が負担しました。作業は県農林公社と町、JA、町民が出資して設立した第三セクターの農業生産法人「有限会社みの

り」が担いました。ブルーベリーが241人で39.2ヘクタール、梅が122人で16.9ヘクタール、プルーンが98人で13.1ヘクタール、アンズが12人で1.1ヘクタール。合計473名、植栽箇所合計617カ所、面積約70ヘクタール、本数合計4万1,194本が、結果としてプルーンはうまく実がなりませんでした。アンズは販売が難しかったということです。

観光農園の入場者は昨年約6,500人、ブルーベリーは年ごとに収穫量が増え、市場出荷する青果の販売促進と加工が課題であるということです。町主導の加工品開発に加えて農家グループや個人がジュースやジャム加工に取り組んでいます。

以上が観光果樹園100町歩構想の概要です。

平成21年度果実販売データですが、ブルーベリーが約3,900万円、プルーンが150万円、梅が154万円、アンズが6万7,000円。これは農協を経由して出荷した分だけで正確な数字ではないということでした。

研修の結果として、果樹栽培だけでは生計を立てることはできないが、高齢者福祉の意味合いと農地を荒廃させずに保全し、将来に引き継ぐという意味合いでは効果は大きいと言えるのではないかと原田町長の言葉でした。また、美里町では、阿見町の取り組みに興味があり、来年の2月にはこちらにも視察研修に伺いたいとの申し出がありました。

以上が産業建設常任委員会の視察研修所管事務調査であります。改めて関係各位にお礼を申し上げます。

○議長（佐藤幸明君） 以上で、常任委員会所管事務調査報告を終わります。

議員派遣報告

○議長（佐藤幸明君） 次に、日程第5、閉会中に行われました議員派遣について報告を求めます。

吉田憲一君、登壇願います。

〔12番吉田憲市君登壇〕

○12番（吉田憲市君） 皆さん、おはようございます。それでは、阿見町姉妹都市親善訪問の御報告をさせていただきます。

まず最初に、余談になりますが、最初から余談で申しわけないんですが、私はかねがね機会があればぜひともアメリカ本土に行ってみたいと思っておりました。と申しますのも、私が20歳代のとき、かつての職場でありましたソニー株式会社に勤務の折、アメリカサンディエゴ事業所への転勤話がありました。1970年代前半、当時の日本では、まだまだ現在のように気軽に海外に行くということは夢のごとくの時代でありましたので、それゆえに希望に燃える半面、

見知らぬ地へ行くという若さゆえの怖さ、心配が募り断念をいたしました。今思えば、自分自身の度胸のなさがしみじみ情けなく反省するのみであります。それ以来、機会に恵まれず、約35年たったの初めてのアメリカ行きは何か感慨深いものがありました。

ここまでが余談です。さて、いよいよ9月27日、午後4時30分、約30分おくれにて一路アメリカへ向けて出発いたしました。成田空港では、同僚の大野議員、諏訪原議員、平岡議員、佐藤議長、そして事務局長、秘書課長、そして坪田部長の見送りをいただきました。ありがとうございました。

さて、話には聞いておりましたが、3時間以内の飛行機の旅しか経験のない私にとっては、約11時間余りの飛行機の機内はとてつらいものがありました。飛行機が上昇しますとすぐに機内食が配られました。私はビーフを選んで食べましたが、前評判は非常に悪かったのですが、前評判よりもかなりおいしかったです。午後11時ごろには、もう既に外は明るく夜明けになっておりました。窓から外をのぞくと地上の山々が白く雪らしいものに覆われておりました。多分、アラスカ上空ではないかと思われそうですが、大変きれいに見えました。これは確認していません。日本時間午前2時5分、現地時間午後12時7分、ミネアポリス国際空港に到着しました。予定より1時間早くの到着でした。ちなみに天候は晴天、気温は摂氏16度と大変快適でした。やっとアメリカ本土に地を踏み、初めてアメリカへ来たんだという何とも言えない思いが募りました。

さて、ここからはいよいよ飛行機を乗り継いでダルース空港、スーペリア市へ向けての出発です。乗り継ぎ待ち時間が約1時間ほどありました。現地時間午後3時10分、超小型プロペラ機にて出発しました。プロペラ機の独特の軽いエンジン音の響く中、午後4時30分、ダルース空港に到着いたしました。そこはとてつものどかな小さな空港でありました。空港には、スーペリア市の通訳のキムさんほか女性2名の方が、そして本当にアメリカ人、昔のアメリカ人というのは私は知りませんが、映画に出てくるようなですね、本当にアメリカ人風みtainなアメリカ人、優しそうな、そしてユーモアたっぷりのバスの運転手さんが迎えに出てくれました。早速バスに乗り込み、歓迎式典会場へと向かいました。途中スーペリア、ダルースは紅葉の時期でありまして、非常に見事にですね、イチョウが黄色く染まっておりました。見ごたえがありました。また、町並みもですね、余り大きな家がなく、むしろ日本のですね、田舎にいるようなそういう感じの非常に親しみのある町でした。

そんなこんなで歓迎式典のほうへ臨んだわけですが、会場では市長さんを初め、議長さん、議員さん、そして姉妹都市の役員の方々が歓迎してくれました。そして、日本の岩手県に3年留学していたというキムさんという、そうですね三十五、六歳かな、の女の方がですね、アメリカのほうのですね、日本語通訳として通訳に当たってくれました。最初に市長さんがキム

さんの紹介によってあいさつがありました。続いて中西さん、国際交流の中西さんですね。中西さんの通訳により、川田会長さんがあいさつをされ、あとは順にですね、自己紹介に移り、和気あいあいと約1時間余り会食と会話に花が咲きました。スーペリアの皆さんはおおらかで非常に親しみのある人たちでした。

翌日、9月28日、朝8時に出発しまして、スーペリア市役所、議場見学をいたしました。写真の中にも一番最後に議場が出ていると思うんですが、それが議場です。そして、ともに姉妹都市調印式に臨みました。続いて、友好庭園にてテープカット、オープニングに臨んだわけです。日本式の公園になっていて、植木も石庭もよく研究されていて、でき上がりもボランティアでつくったというんですが、ボランティアでつくったようなですね、ものではなく、本当の本職がつくったようなですね、すばらしい庭園でした。関係者の皆さんが約100人ぐらい集まりまして、テレビ報道も行うということでテレビ局も来て、インタビューなんか受けたんですがね、それはカットされたようです。

ここでまた私ごとのエピソードになっちゃうんですが、ちょっと1行ばかり読ませていただきます。私ごとのエピソードになりますが、このオープニングのさなか、かつて私のめいがホームステイでお世話になったお宅の御主人が、めいからのメールがあったということで、わざわざ遠くから私を訪ねてくれました。何とすばらしいんだろうと、本当にありがたく感じました。ありがとうございました。

午前11時30分、式典は盛況のうちをめたく終了いたしました。

続いて、レストランにて市長さんを交えての食事会となりました。その後、ウィスコンシン州立大学スーペリア校に出向き、茨城大学の農学部ですね、女性の生徒さんが留学していたんですよ。それで、やあなんてね、女性だったからかもしれせんけども、非常に親しみを感じておりました。それから、もう一人ですね、東京からの留学生、あとガイドさんの3名ですね、大学構内を見学させていただきました。非常にキャンパスも大きくて木々も紅葉しており、静かな校内でした。2,800名の学生さんですね、研究者が勉強しているということがありました。まだまだお話しすることあるんですが、時間の関係で次に移ります。

次に、スーペリアウエストサイドエナジーターミナルというところへ足を運びました。そこはですね、もう本当にむきもないというか、物すごい石炭の積み出し港があるんですね。それで、ここで言うとそうですね、福祉会館の式場がありますよね。あれを全部埋めても足りないぐらいのですね、石炭が積んであるところなんです。それで、そこにスプリンクラーみたいに水がかかっているんですよ。何でこれ、水をまいているのかなって質問したら、多分、石炭のほこりか何かかすごく水をまいているのかなと思ったら、そうじゃなくてね、石炭を積んでおく中で火災が起きるそうです。自然に火が発生しちゃうんだって。ですから絶えず水

をまいているんですね。その石炭はね、1,000フィートの貨物船、1,000フィートの貨物船ってかなりでかいんですが、その貨物船でそこから積み出してですね、スペリオル湖を渡ってですね、デトロイトまで行くんですね、二日かかりで。それでデトロイトで火力発電所の原料になるっていうんですね。本当に大量の石炭がね、簡単に掘り出されると。資源の豊かな国だと、日本と全然違うんだなということですね、大いに見せつけられた感じがしました。

それから、午後ですね、5時45分にですね、次に移りますが、5時45分に迎えが来ましてですね、バーベキューパーティにですね、招かれました。非常に気候がですね、寒くて、外は寒く暖房用のまきがたかれたんですが、多少の効果しかなくてですね、防寒服が用意され、2時間ぐらいの時間が過ぎ、お開きとなりました。片言の英語、向こうに行ってるんですね、単語だけがちらちらと飛ぶんですね。それをですね、かいつまんでお話しするとですね、向こうの方は非常に優しい方で、意味を一生懸命理解してくれてですね、返してくれるんですが、返された言葉がわからない。本当に英語をもう少し、英会話を習っておけばなど、しみじみ思いました。皆さんもどうぞ英会話を十分に、英語が堪能な方もいらっしゃいますけども、習われたらよろしいのかなというふうに思いました。これも余談です。

そんなこんなでですね、2時間の時間が過ぎまして、片言の英語の語らいと同行者同士の話がちょっぴりですね、向こうはお茶がわりにビールなんです。ビールをいただきまして、大いに盛り上がりですね、友好関係がですね、お互いに深まったと私は思います。

翌日、9月29日はですね、8時半出発で、2代目の市長さん、スーペリアの2代目の市長さん宅へですね、見学に行きました。これはすばらしいお宅でですね、日本で言えば旧家っていうやつですね。よく地元の方なんかも見学に来るみたいなんですが、すばらしいお宅でした。

次に、午後12時30分、ロータリークラブの歓迎式典に出席をさせていただきました。そこでスーペリア市ロータリークラブの代表者と石井議員さんがね、バナーでいいのかな、あれ。バナーの交換というのをやりまして、約1時間の式典が終わりました。この式典にですね、向こうの式典というのはですね、日本はですね、会食でも何でもいろいろお話をいただいてね、それで乾杯の音頭をとって、それから飲食に移るんですが、アメリカの場合はそうじゃなくてね、自由に御飯を食べちゃうんですね。それで食べ終わってから始まるんですよ。だからあつという間にね、食べはぐっちゃうのね。それでまた物すごくよく食べます。フォークとナイフはこう使うんだと思いました。しかしですね、向こうの方はこういうふうにつつまんでですね。それでこんなでかい物をですよ、ぐっと刺してね、こうやって食べるんですよ。それを1つね、こんなことをやってたら食べられないんですね。それを1つ習いました。

そんなことをしているうちにですね、この式典が終わりまして、次に天候がですね、曇りだったんですが、ちょうど終わったころにですね、がらっと天候が晴れましてね、スペリオル湖

のですね、クルージングをさせていただきました。湖上はですね、すがすがしく、ダルース市の町並みがですね、ちょうどサンフランシスコ——行ったことはないんですが、映画で見たサンフランシスコの坂道みたいなところにダルースって都市があるんですね。非常にきれいで湖もきれいでね、本当にすばらしいところでした。

翌日、9月30日は早朝ですね、4時半です、出発。ですから、朝の4時半なんで多分見送りの方もいらっしやらないのかなと思ったんですが、早朝にもかかわらず4名の方がね、見送りに来ていただきました。そしてまた、来たときと同じですね、昔ながらの運転手さんがですね、ダルース空港まで送ってくれました。びっくりしたのはですね、ダルース空港に、先ほどの岩手県に3年留学したっていうキムさんがですね、通訳のキムさんがですね、おにぎりとね、ノリとトマトと卵を持ってですね、待っててくれたんですよ。で、米なんかはね、売ってるそうなんですね。おにぎりもね、よく上手につくってあるの。それをですね、いただきました。大変おいしかったです。キムさんのですね、ホテルでは朝が早いと食事が出ないということを知っていたんですね、その思いやりで本当においしかったです。スーペリアの皆さん、本当にですね、ありがとうございました。改めてこの場からですね、厚く御礼を申し上げます。

ここでスーペリア市とはですね、お別れを告げたわけなんですけど、一行はですね、次にデトロイト経由でボストンへ参りました。ボストンという町は話には聞いていたんですがね、ここは日本で言ったら京都かな、古都みたいな感じですね。ニューヨークががさがさがががさしているにぎやかな反面ですね、ボストンというところは非常に何ていうんですかね、文化の町っていいですかね、ハーバード大学なんかあってですね、非常に落ちついたすばらしい町でした。そこでボストンで少し歩かせてもらったりなんかしてですね、方々見させていただきました。

その日はボストンに泊まりまして、翌日、10月1日、ボストン午前9時30分発の飛行機でね、ニューヨークへ行く予定でありましたけれども、ちょうどハリケーンが来ていまして、ニューヨークの天候が雨で着陸不能というようなことでね、飛行機には午前9時に乗ったんですけども、機内で着陸可能になるまで待ってなさいということで、約1時間ぐらい寝てましたね。目が覚めたらニューヨークかなと思ったら、とんでもない、まだボストンにいたということで。それから、1時間おくれで一路ニューヨークへ向かいました。気流の関係で機体が物すごく揺れました。外をちょっと見てみたんですが、真っ白な雲の中をですね、飛んでおりました。

午前11時45分、雨のニューヨーク、ラガーディア空港に到着いたしました。当日はニューヨークに泊まりました。そして翌日、10月2日、午後1時40分の飛行機で成田へ向かいました。翌日10月3日、日本時間午後4時10分、成田に到着いたしました。

今回の訪問にですね、参加をしてアメリカの広大さとみなぎる力、活気、そしてそこに住む人の寛大でおおらかなゆとりとも感じる豊かな親しみのある性格がうかがわれました。

最後に、中西さんを初め、川田会長さん、そして、同行者の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

以上、スーパーリア市姉妹都市親善訪問の御報告とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（佐藤幸明君） 次に、副議長藤井孝幸君、登壇願います。

〔副議長藤井孝幸登壇〕

○副議長（藤井孝幸君） おはようございます。議員派遣報告をさせていただきます。

去る11月16日、美浦村花王株式会社霞ヶ浦研修所で開催されました第1回県南町村議員大会派遣報告をいたします。

本大会は、昨年までは「稲敷郡町村議員大会」というふうに言われておりましたが、本年より利根町の議員が参加されましたので、「県南町村議員大会」と名称を改め開催されたものがあります。阿見町より、議長を初め16名の議員、それから事務局3名が参加をいたしました。町長も来賓として参加をされております。

ここで大会宣言の概略を述べさせていただきます。「長引く経済不況により地域経済は疲弊し、雇用情勢は厳しさを増し、高齢化、人口減少が進行する中、町村は大きな岐路に立たされている。我々議会議員はこのような町村の危機的状況乗り越え、真の分権社会を創造するため、一致結束して果敢に行動していくことをここに誓う」という大会宣言を採択いたしまして、次に、「地域主権改革の実現を期する」ということを初めとする13項目の決議を採択をいたしまして、第1回県南町村議員大会を終了いたしました。

続きまして、成長戦略総合研究所理事長の山崎養世先生——男性ですけども、「高速道路無料化を軸とした地域成長戦略」と題しての講演を聞く機会を得ました。この講演の内容の要旨は、1つは、苦しい日本経済の現状があると。2番目に、大都市依存の限界。それから3番目に、地方からの成長が重要であると。こういうことで、採算性の高い高速道路は有料として、がらあきの高速道路は無料化をし、その高速道路に多くのインターチェンジをつくり、そのインターを中心としたまちづくりが必要であるというようなことでもございました。これはですね、少子高齢化が進む、ますます進行して2035年には高齢化率が32.2%となると。よって、これからのまちづくりは都会中心での生活は不可能になると、高齢化が進みますからですね。そこで歩いて、もしくは自転車で生活ができるようなまちづくりが重要であると、こういうお話でもございました。このことを考えると、県南地区は高速道路も整備をされており、土地も広く、そして安く、発展性の可能性は十分あるということでもございました。我々議員にとって、まちづくりに展望が持てる大変有意義な講演内容であったことを報告いたしまして、議員派遣報告を終了いたします。

○議長（佐藤幸明君） 以上で議員派遣についての報告を終わります。

議案第85号 阿見町職員の給与に関する条例等の一部改正について

○議長（佐藤幸明君） 次に、日程第6、議案第85号、阿見町職員の給与に関する条例等の一部改正についてを議題といたします。

提案者の提案理由の説明を求めます。町長天田富司男君、登壇願います。

〔町長天田富司男君登壇〕

○町長（天田富司男君） 皆さん、おはようございます。本当にただいまは3名の格調高い報告ということで本当に聞き入っておりました。

本日、平成22年度第2回臨時会を招集しましたところ、議員の皆様には公私ともに多用の折にもかかわらず御出席をいただきまして、ここに臨時会が開会できますことを心から感謝申し上げます。

早速ですが、議案第85号、阿見町職員の給与に関する条例等の一部改正について、提案理由を申し上げます。

人事院においては、本年8月10日、国会及び内閣に対し、国家公務員の給与及び期末・勤勉手当の支給割合を引き下げる勧告を行いました。これを受けて、11月1日には一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案が閣議決定され、同日に国会へ法案が提出されました。阿見町におきましても、人事院勧告に準じて、阿見町一般職員、特別職員の給与等の引き下げに関する条例の改正を行うものであります。

以上、提案理由を申し上げましたが、慎重審議の上、御承認いただきますようお願い申し上げます。

○議長（佐藤幸明君） 以上で提案理由の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤幸明君） 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結いたします。

ただいま議題となっております議案第85号については、会議規則第39条第3項の規定により委員会への付託を省略することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤幸明君） 御異議なしと認め、さよう決定いたします。

これより討論に入ります。

討論を許します。

18番細田正幸君。

○18番（細田正幸君） 私は、議案第85号、阿見町職員の給与に関する条例などの一部改正について反対討論をいたします。

この改正案は議員も該当します。それから、町の職員の給与を下げる案でございます。私は、今日本は10年来の長引く不況だというふうに言われております。今までの13年間、日本の民間——公務員もそうですけども、給与水準が毎年毎年下げられてきました。私は、この不況を終わらせる、歯止めをかけるためにも、この公務員ですよ、公務員、企業で言えば日本で一番の従業員を持つ企業だと思ふんですけども、この給与減に歯止めをかけ、そしてGNPの6割を占める消費水準を上げるためにも、公務員の給与水準の低下を防ぐ手だてをする必要があるというふうに思っております。

不況をとめる、その手だてをできる政府自身が給与水準を下げるということは、日本の不況脱出にブレーキをかけることだというふうに思います。で、国が決めたから右倣えじゃないと交付税などで差別をつけられるという前段の説明がありましたけれども、私は日本の不況脱出のためにも公務員の給与は下げるべきではないというふうに思います。

したがって、今回の条例の一部改正、給与引き下げについては反対をしたいというふうに思います。

以上です。

○議長（佐藤幸明君） ほかに討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤幸明君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

議案第85号については、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議あり」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤幸明君） 御異議がありますので、起立により採決いたします。

議案第85号は、原案どおり可決することに賛成の諸君は、起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（佐藤幸明君） 起立多数であります。

よって議案第85号は、原案どおり可決することに決しました。

閉会の宣告

○議長（佐藤幸明君） 以上で、本臨時会に予定されました日程はすべて終了しました。

これもちまして、平成22年第2回阿見町議会臨時会を閉会いたします。御苦労さまでした。

午前10時39分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 佐 藤 幸 明

署 名 員 川 畑 秀 慈

署 名 員 難 波 千 香 子